

## 市民活動応援補助金報告会の進め方（案）

### 1 報告会の構成

- 【第 1 部】 市民活動応援補助金報告会（11 事業）
- 【第 2 部】 神奈川県助成制度の説明
- 【第 3 部】 情報交換会（他団体との交流）

### 2 日時・場所

平成 24 年 7 月 31 日（火） 18:30～21:00

市役所 7 階 大会議室

※今年度は、開催方法を確立することを優先する。次年度以降、随時開催内容を改善するとともに、有効的な開催場所についても検討する。

### 3 開催案内チラシの送付対象

- ・平成 24 年度市民活動応援補助金交付団体（13 団体）
  - ・市民活動サポートセンター登録団体（約 400 団体）
- ※別途、広報おだわら、市公式ホームページ等により一般市民にも周知

### 4 第 1 部の進め方

#### （案 1）プレゼンテーション形式

##### ◇進め方

- ・ 1 団体ごとに事業説明を行い、質疑を受ける

##### ◇課題及び対処

- ・ 発表や質疑に時間がかかる → 複数会場に分けて進行する
- ・ 発表内容が報告書と重複する → 別視点のテーマを設定する
- ・ 資料作成の負担が増える → A4 用紙 1 枚程度とする

#### （案 2）パネルディスカッション形式

##### ◇進め方

- ・ 各団体 1 名をパネリストとして、コーディネーターの進行により、設定されたテーマに基づき意見交換を行う

##### ◇課題及び対処

- ・ パネリストが多数になるとこの形式の良さが出にくい → 複数回、若しくは複数会場に分けて進行する
- ・ 成果はコーディネーターの資質に左右されがち → コーディネーターの選定

### (案3) 複数ブース型プレゼンテーション形式

#### ◇進め方

- ・会場内（市役所7階 大会議室）に複数の発表ブースを設け、同時にプレゼンテーションを行う [パーテーションで区切らず、自由に移動できる会場づくり]

#### ◇課題及び対処

- ・多くの団体の報告を聞けない → 団体ごとに複数回の報告を行う
- ・報告者は他の団体の報告を聞けない → 二部構成の入れ替え制とする
- ・複数ブースの報告者の声が重なる → 対処なし

## 5 市民活動推進委員会の役割

- ・報告された事業に対して評価を行い、団体側に意見を送付する。

## 6 その他

- ・参加者には、団体のチラシやポスター類の設置を呼びかける。

#### 参 考

○市民活動情報交換会（H23.8.9） 18:30~20:30【2時間】

第1部 応援補助金報告会（3団体） 18:30~19:25【55分】

（司会説明、報告（各8分）&質疑、補助制度の説明）

第2部 神奈川県の助成制度の説明 19:30~19:50【20分】

（協働事業事例発表、基金21説明）

第3部 情報交換会（他団体との交流） 19:55~20:30【35分】